



●専門家派遣

岡崎市近郊での講義や岡崎市内の先進事例の紹介、各種委員会や審議会への助言ならびに政策提言を行い、地域課題に対する複合的解決策の提示を推進しました。

●講師・コーディネーターなど

「公益活動事業費補助金公開プレゼンテーション審査会」(岡崎市市民協働推進課)／「三河ものづくり学」講義(愛知産業大学)／「日本都市学会第63回大会シンポジウム」(日本都市学会)／「Vivaつながるセミナー」(Vivaおかげさき!!)／「東海若手市議会議員の会研修会」(東海若手市議会議員の会)／「ミズベリング・アイデアス」(ミズベリング)／「公益活動事業費補助金事業成果報告会」(岡崎市市民協働推進課)／「愛地球博記念公園マネジメント会議」(愛知県公園緑地課)／「空き家を活用したまちづくり」(みはままちラボ)／「休眠預金活用制度セミナー(新基金賛同者ネットワーク)」／「市民活動の資金支援の今後のあり方調査・検討会議」など

●委員会・審議会

岡崎市景観審議会／岡崎市総合計画審議会／岡崎市観光基本計画推進委員会／岡崎市市民協働推進委員会／旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画策定検討委員会

事務局他

●まち育てインターンの受入

自治体から派遣された研修生12名を対象に、インターンプログラムを実施しました。「まちの学習機会」を提供し、受講者のまちづくりリテラシーを高めると同時に、地域に役立つまちづくり実践の場を創出しました。また「りた」にとっては、インターン受け入れにより、事業の趣旨を理解してもらいつつ第三者的視点が増えることで、内部職員では気づけなかった事業の良い点や改善点が見つかり、既存事業の底上げにつながりました。

●りた機関紙「りたらしい」の発行



「りたの見える化」を目標に、各部門の事業内容と成果の報告を行いました。また、今年度は「おとがワ！ンダーランド」、「りた法人設立10th記念シンポジウム」、「岡崎市政100周年記念事業」などを特集しました。

●りたスタッフ研修

今年度新たに入社したスタッフに対し、岡崎市内のNPO/市民活動の潮流とりたの位置づけを学び、りたが掲げる事業方針に基づいた支援業務の概要に触れつつ、中間支援組織の一員としての業務に従事できるよう教育を実施。加えて、近隣他地域のNPOや市民活動センターの視察を行い、それを分析することにより、他のNPOに対しても適切なアドバイスができるよう教育しました。

●りたHP リニューアル



2017.1.1りたのホームページをリニューアルしました。りたの取り組み、各部門の告知記事などの掲載をしました。



岡崎百景の取り組みが都市景観大賞を受賞

特集 2016年度のりた

2016年度の「りた」は4つのミッション(景観、防災、福祉、マッチング)を掲げ、事業を推進しました。この年は岡崎市政100周年という節目の年であり、これを記念する事業が数々実施される中、「りた」は岡崎まちものがたり、岡崎百景などの「景観」に関わる記念事業を展開しました。

その中でも岡崎百景は、市民全体の景観啓発の取り組みとして評価され、平成29年度国土交通省の都市景観大賞を受賞するに至りました。

その他についても、「防災」では防災危機管理課(現防災課)と共に各地域(市内4つの町内)の多様なニーズに併せた「地区防災計画」を策定。「福祉」では以前からまちづくり支援を行ってきた松本町で高齢者サロンがオープン。「マッチング」については、新世紀岡崎チャレンジ100で多くの市民プロジェクトが生まれるなど、各事業において多くの成果を創出した1年となりました。

トピックス

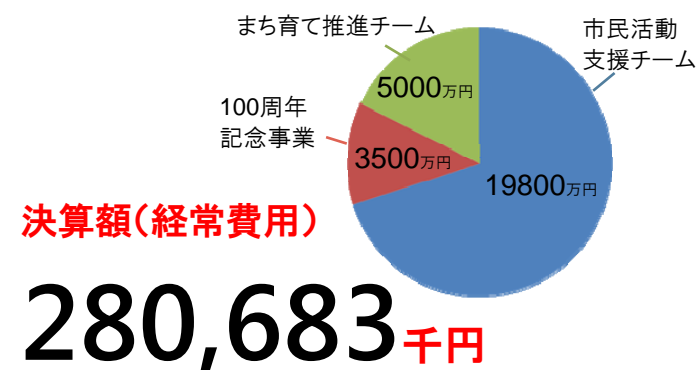
岡崎百景が都市景観大賞を受賞！

まちへの誇りや愛着を高め、景観まちづくりの主体的な担い手としての素養や意識を育てていくことを目的として、平成28年度の市制100周年の節目に、新時代に継承すべき100の景観を「岡崎百景」として選定しました。

公募で集まった市民83人により122の景観が推薦された後、1,497人の市民投票を経て、岡崎百景が決定しました(推薦人に向けた2年間の研修プログラムをりたが担当)。一連の取り組みが市民主体の景観啓発事業として評価され、平成29年度国土交通省の都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」の優秀賞を受賞しました。



数字で見る「りた」2016年度



岡崎市制施行100周年記念事業およびまち育て関連の事業の受託に伴い、事業規模が拡大しました。

従業員数
64人

(常勤職員20人・パートなど44人)
経験を積んだスタッフが、より深化して事業に取り組みました。

交流センター年間利用者数合計

449,593人

1年間に地域交流センターをご利用いただいた人数を5館分合計すると、岡崎市の人口を上回る数になります。

地区防災計画策定

4地区

若松東、藤川西部、戸崎六区、西本郷町の4地区において、他地区のモデルとなるような、防災計画を策定しました。

ボランティア 募集件数/マッチング数

113件/2,869人

「まちびとバンクで」1年間に地域交流センターと市民活動センターで受け付けたボランティア募集件数とマッチング数です。

新世紀岡崎チャレンジ100

総イベント実施数/総参加者数・スタッフ数

300件/103,551人

市民主体で岡崎市制100周年を盛り上げる89のプロジェクトに多くの市民がスタッフ・参加者として関わりました。

●リバーフロント地区まちづくりデザイン

5か年で進められる乙川リバーフロント地区の都市開発事業に対して、岡崎市における「公民連携まちづくり」のモデルをつくりだすため、様々なプロジェクトを実施しました。 ■おとがわプロジェクト | <http://otogawa.jp/>



●QURUWA FUTURE VISION DAY1 / DAY2 / DAY3

籠田公園や中央緑道のエリアをこれからどのように使っていくか。まちの主婦やご年配の方、高校生やお店の事業者など多様な世代の方が議論し、公園活用の提案をしました。



●まちのトレジャーハンティング

40名の参加者とハンター(専門家)が「乙川」「伊賀川」「りぶら」「旧東海道」「セントラルアベニュー」の5エリアに分かれ、岡崎のまちの資源を探し、まちの未来像をプレゼンテーションするワークショップを開催しました。



●おとがワ！ンダーランド

国が進める河川を活用したまちづくり=かわまちづくりの一環で、乙川リバーフロント地区において、民間主導による事業実施が可能に。乙川をより魅力的な場所へ変えていくプロジェクトが実施されました。



●リノベーションまちづくり

老朽化した民間の遊休不動産などを活用し、まちの魅力づくりと課題の複合的な解決を目指すプロジェクト。連尺通に惣菜屋をオープンするなど各事業が動き出しました。



●観光客対応力醸成事業

「岡崎城」や「八丁味噌」などの従来型の観光資源だけでなく、個人の趣味嗜好から岡崎の魅力や資源を掘り起こすワークショップを開催しました。



●松本町包括ケア会議支援業務

高齢化が深刻な松本町において、地縁組織と他セクターとが連携し高齢者の生活支援の仕組みを検討する「松本町包括ケア会議」を定期開催しました。



●地区防災計画策定支援事業

平成28年度のモデル地区(若松東、藤川西部、戸崎六区、西本郷町)において、地区防災計画を策定支援。住民向け地区防災計画策定マニュアルも作成しました。



●デザイン活用促進事業

市域の中小企業経営者やデザイナーを対象にデザイン活用促進と啓発を促すフォーラムを開催した他、事業者のプロジェクトマネジメント支援を行いました。



●公園利活用ニーズ調査業務

公園利活用活性化のモデル地区に針崎地区が決定(れんが公園、さくら公園、春咲の丘公園が対象)し、地域の担い手の発掘及び公園利活用に向けた方策をモデル地区の市民と一緒に検討しました。

市民活動支援チーム／まち育て推進チーム

対話の場づくりを中心に、市民が主体的にまちの課題解決や魅力創出・伝承に関わっていただける仕組みづくりを支援しました。

2016年度の事業(抜粋)

●岡崎市政100周年記念事業

2016年7月1日に市政100周年を迎えた岡崎市。これを記念する事業が数々実施され、りたは以下の3つの事業の推進に尽力しました。



景観

●岡崎まちものがたり

市内47の小学校区ごとに学区の魅力を紹介する「岡崎まちものがたり」。学区ごとに作成委員会を立ち上げ、学区の皆さん自身が、各8ページの紙面に掲載するネタの選定、写真の撮影、執筆・編集をしてお手伝いをさせていただきました。冊子はりぶらや地域交流センター等でご覧いただける他、電子データは岡崎市ホームページでダウンロードできます。

■岡崎まちものがたり | <http://www.city.okazaki.lg.jp/100th/topics/p020876.html>



景観

●岡崎百景

「岡崎百景」はいわゆる名所・旧所の類のみならず、書物に残らないような身近な「あたりまえ」の日常に潜む大切な景観や場面にスポットを当て、一般公募で集まった「百景推薦人」から主観的な愛着や思い入れのある景観を募り、多くの市民の共感が得られたものを「岡崎百景」として選定しました。その内容を、パンフレットとしてまとめました。

■岡崎百景HP | <http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1567/1637/p017810.html>



マッチング

●新世紀岡崎チャレンジ100

「新世紀岡崎チャレンジ100」は「岡崎市政100周年を市民参加で祝う」をコンセプトに上限100万円(総額1億円)を補助する市民参加事業です。りたは当事業のサポート窓口を担当。公募の結果、様々なジャンルにまたがる89のプロジェクトが生まれ、新しい岡崎の魅力の発見や創出に繋がりました。記録誌は、りぶらや地域交流センター等でご覧いただける他、ホームページでも閲覧することができます。

■新世紀岡崎チャレンジ100記録誌 | <http://www.city.okazaki.lg.jp/100th/topics/p021128.html>

北部地域交流センター なごみん

昔ながらの「結び」の精神が息づく岡崎市北部地域で、利用者を支え、利用者に支えられるセンター運営を実現しています。

2016年度の事業(抜粋)



マッチング

●なごみんフェスタ2016

なごみんを利用している活動団体に、成果発表と交流の場を提供しました。



マッチング

●なごみん横丁

子どもたちだけで仮想都市を運営し、まちづくりを学ぶイベントを開催。まちづくりの担い手育成につなげました。



マッチング

●なごみんカレッジ

活動団体や聾学校の生徒を講師に招き、市民ニーズを解決する講座を開催しました。



景観

●まち育てスクール「真福寺編」

普段見過ごしがちな地域資源を再発見すべく、まち歩きを実施しました。



マッチング

●花咲ボランティア

ボランティアによる花壇等の環境整備活動をマネジメントすると同時に、ボランティアが活動しやすい環境を提供しました。



防災 福祉

●手話防災～防災リーダーが知っておきたい手話～

岡崎聾学校の生徒を講師に招き、防災リーダーを対象に災害時に役立つ手話を学びました。

南部地域交流センター よりなん

顔の見える関係づくりを基軸に、地域防災力強化や健康寿命の増進など地域課題解決に取り組んでいます。

2016年度の事業(抜粋)



防災

●防災フェア

地域と合同で地震に関する講話や防災体験を実施し、地域の防災意識向上に努めました。



マッチング

●よりなん感謝祭

市民団体とともに企画・運営を行い、ステージ発表や展示・販売を通じて市民と団体が触れ合う機会や成果発表の場を創出しました。



マッチング

●夏休み昔の遊び体験フェスタ

昔の遊びを通じて世代間交流を促進させ、地域への意識を高めました。



マッチング

●よりなんクリスマス会

民生委員や大学生らと連携し、就学前のお子さんと保護者を対象としたクリスマス会を開催しました。



マッチング

●上地学区親子夏祭りへの参加

地域行事でよりなんとして出展販売する“手づくりかざぐるま”をボランティアとともに制作し、ものづくりによる地域貢献の機会を創出しました。



福祉

●上地学区老人クラブ交流会

老人クラブ連合会からの活動報告と健康をテーマとした講座を実施しました。

西部地域交流センター やはぎかん

世代間交流、団体間交流を通じて地域の文化伝承、課題解決、担い手育成を目指しました。

2016年度の事業(抜粋)



防災

●防災学び合い交流会

講話や体験、矢作中学校の学習発表をもとに、子育て世代の女性の立場から災害時の行動について考える場“交流会”を開催しました。



マッチング

●親子創造体験イベント「子どもの街」

遊びを通じて子どもの創造性を育むイベントを開催しました。



マッチング

●9周年春まつり

発表や展示・販売を通して、参加団体の活動を広く知っていただく機会となりました。



マッチング

●やはぎ大学しめ縄づくりワークショップ

社会福祉法人の方を講師に招き、しめ縄づくり講座を開講しました。



景観

●花のとう協賛イベント

矢作の伝統行事「花のとう」に協賛し、地域の魅力発見につなげました。



景観

●矢作の魅力発見まち歩き～矢作のすご技さんぽ～

普段、見ることのできないものづくりの現場や、車で何気なく通る道を歩くことで新たなまちの魅力発見につなげました。

東部地域交流センター むらさきかん

地域にある多様な主体と連携し、一緒に東部地域を盛り上げていけるよう、交流や情報交換を行っています。

2016年度の事業(抜粋)



景観

●むらさき麦まつり

藤川宿とむらさき麦のPRにつながるよう、地元まちづくり協議会や大学、小学校などと連携し、むらさき麦お菓子グランプリや宿場ガイドを開催。



マッチング

●むらさき麦食育講座

愛知学泉短大食物栄養学科や藤川まちづくり協議会と連携し、地元特産・むらさき麦を使った料理教室を開催。まちおこし支援と食育を行いました。



マッチング

●東部の活躍人！交流会

東部地域に関わりのある活動団体の事例発表や情報・意見交換会を開催し、交流を広げています。



マッチング

●藤川・竜谷支援事業

藤川では、米屋の事業継続のための検討や活動支援を、竜谷では東部ケア会議などに出席し、それぞれの取り組みをサポートしました。



景観

●まち育てスクール 藤川宿吟行体験さんぽ

松尾芭蕉ゆかりの地・藤川。吟行体験として俳句を詠み、藤川宿の魅力再発見に繋がりました。



マッチング

●むらさきかんフェスタ

市民活動団体によるステージ発表・体験・展示・バザーなどを開催し、団体と市民との交流機会をもちました。

地域交流センター六ツ美分館 悠紀の里

「六ツ美悠紀斎田保存会」と協働し、地域文化「悠紀斎田」の伝承から、さらに新しい地域の取り組みへと広がっていきます。

2016年度の事業(抜粋)



マッチング

●ゆきフェスタ

市民活動の啓発促進として、活動団体の日ごろの成果発表の場を提供しました。



New

マッチング

●お田植えみんなでアート

地域行事の「六ツ美悠紀斎田お田植えまつり」に協賛し、市民参加型のアート作品制作を行いました。



マッチング

●ゆき収穫祭

活動団体の体験イベントを斎田の収穫と同日に開催し、地域への愛着形成と地縁組織との関係づくりを目指しました。



マッチング

●みんなのむつみ展

みなさまから「六ツ美」にまつわる作品を募り、展示を行い、自主的な活動に興味をもっていただく機会を創出しました。



景観

●まち育てスクール「六ツ美南部まちづくり先駆者の足跡を歩く」

六ツ美の発展に大きくかかわった3人の足跡に触れながらまちの魅力を発見しました。



マッチング

●情報誌発送

六ツ美地域や施設利用団体のPRにつながる情報の収集および発信をおこないました。

りぶら市民活動センター

公益活動の担い手の情報発信力・交流力の支援を深めることができた一年でした。

2016年度の事業(抜粋)



マッチング

●まちびとバンク

公益活動促進のためにボランティアをしたい人と探している団体を780件マッチングしました。



マッチング

●「2分間で団体の魅力を伝える」プレゼン講座

会員や仲間を増やしたいという活動団体の方を対象にプレゼン力をアップさせるための講座を開講しました。



ランタン マッチング

●ものものバンク

不用品を提供いただき、必要としている団体にマッチングすることで「モノ」の側面から公益活動支援を行いました。



景観

●まち育てスクール～りぶら旅行社～

りぶら内およびりぶら周辺地域で6コースのまち歩きツアーを行いました。



マッチング

●マッチングフェスタ in第6回岡崎まち育てフェスタ

活動団体が協働相手を見つけるためのマッチングフェアを開催しました。



マッチング

●公益活動支援

公益活動に関する様々な相談対応や、岡崎市の市民活動団体登録の申請相談・受付対応などを行いました。